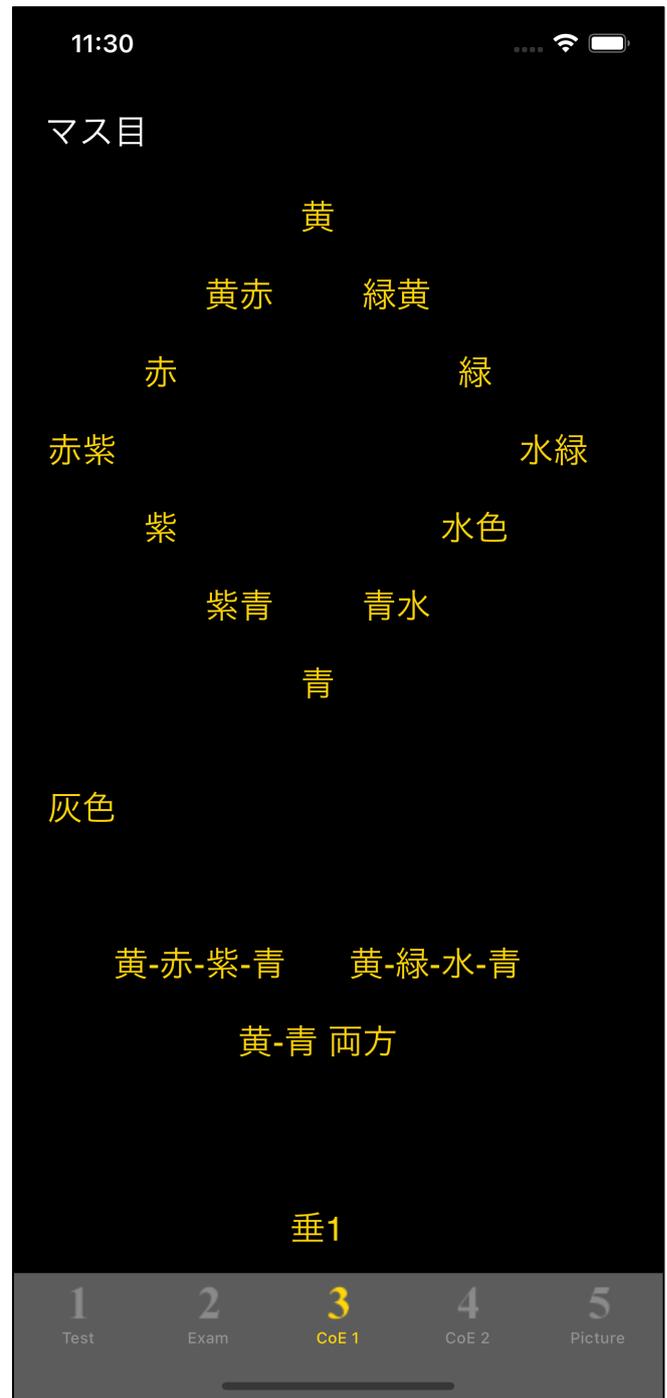
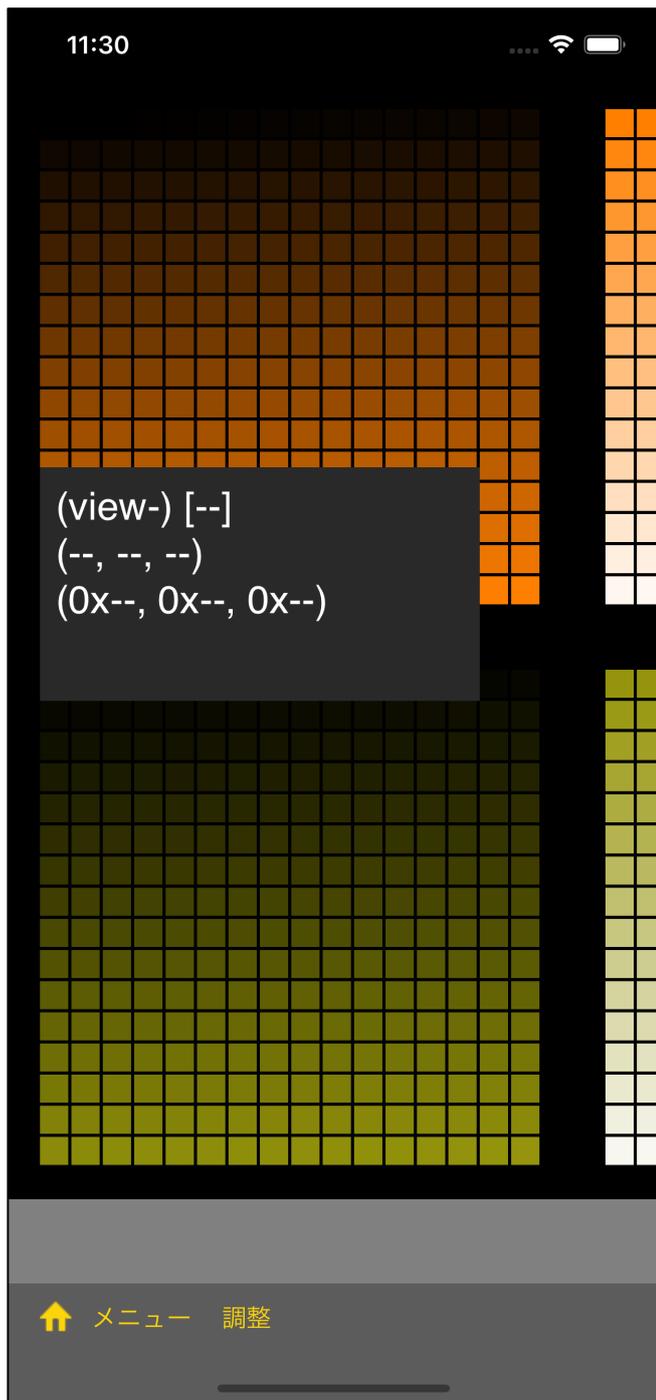


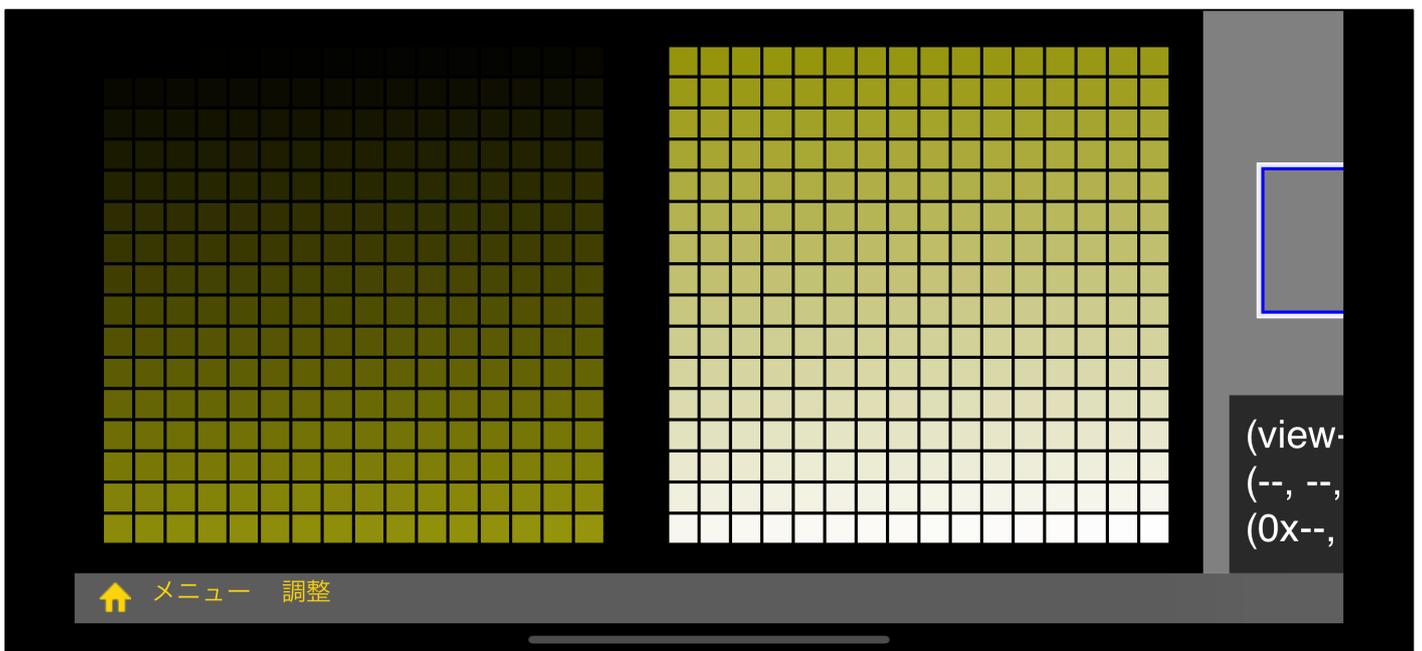
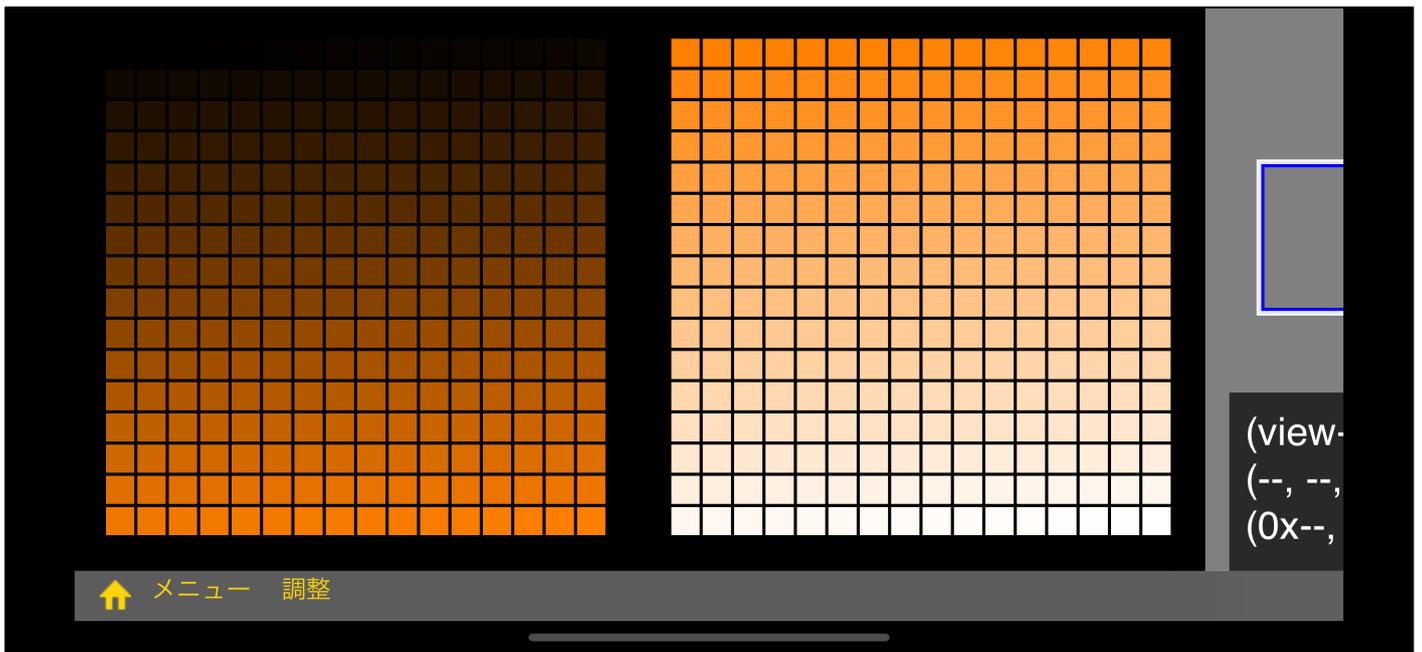
マス目



4つ目のタブの、2番目以降のコマンドが、"マス目" です。



マス目の "黄赤" (YR) ボタンを、押した直後は、こうなります。



横向きにすると、こういう表示になります。

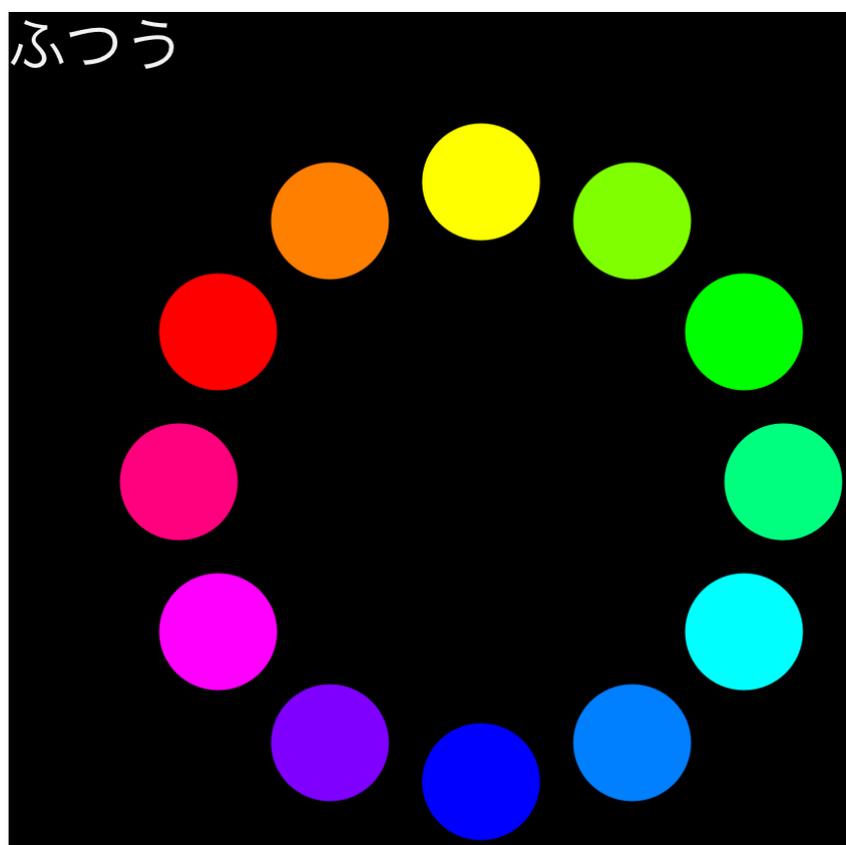
この "マス目" というコマンドは、

黒 黄赤(YR) 白

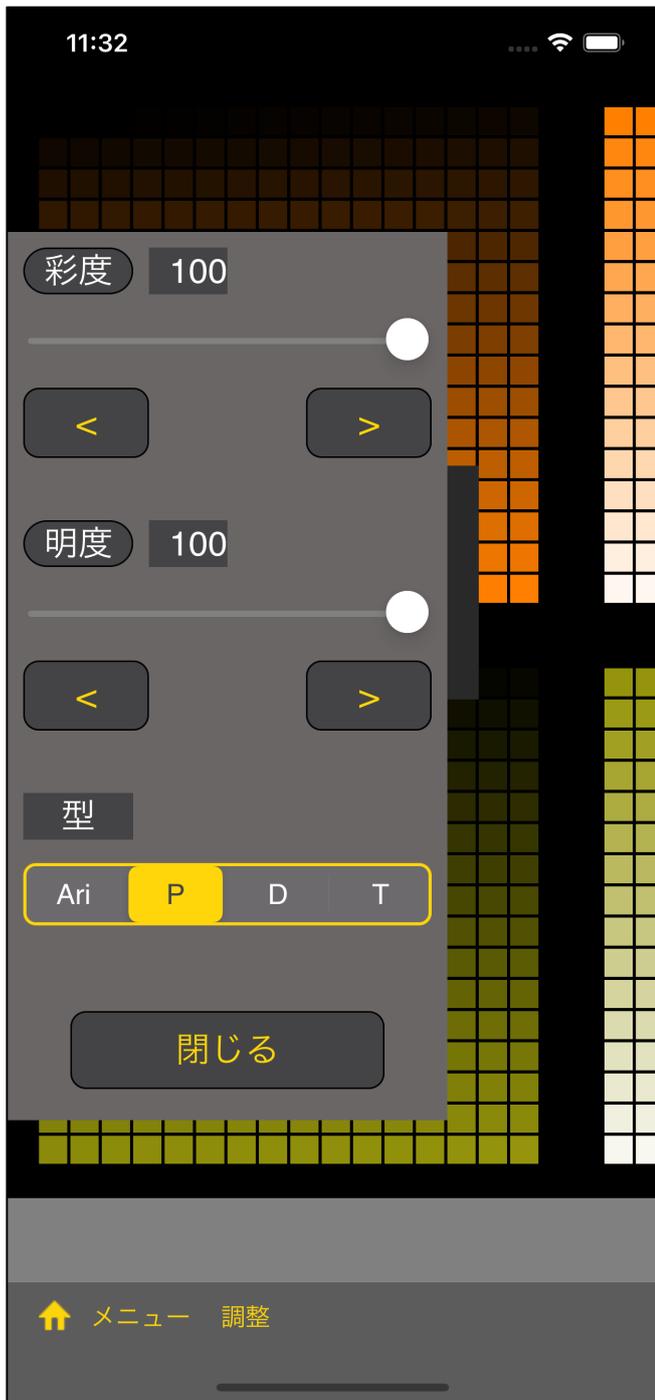
のように、

黒 その色 白

と変換させていくと、その色はどう見えるのかをいうことを表示するためのものです。



色名で表示されているのは、この色です。



ツールバーの "調整" ボタンを押すと、こういうスライダービューが出てきます。

この、"マス目" 表示コマンドでは、

型 Ari、P、D、T

が、色覚異常の型の選択になります。

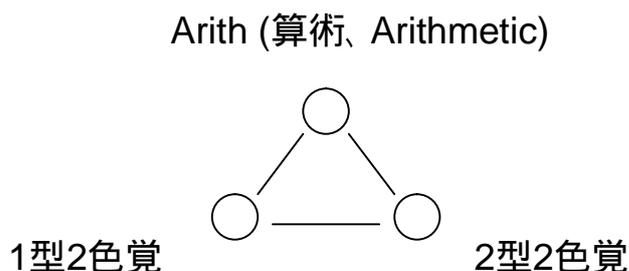
Arith (算術、Arithmetic)

は、正式な色覚異常の型ではありません。

赤緑の色覚異常の色値の算出に使う LMS 変換において、ごく簡単な算術式(ごく簡単な比)だけを使っているものです。

1型2色覚、2型2色覚の色値の算出のために行う LMS 変換では、R、G、B の各値に対して、色覚異常の型に応じた、線型ではない配分規則というようなものが適用されます。

Arith (算術、Arithmetic) での色値の算出では、こういう規則の適用をまったく行わずに、ごく簡単な算術式(ごく簡単な比)だけを使って、赤緑の色覚異常の色値の算出を行っています。



1型2色覚と2型2色覚の色が、だいぶ異なるような場合、このような3点比較を行うと、参考になることもあるかもしれません。

そういう用途で使うことを想定して、導入しているだけのものです。

ともかく、Arith (算術、Arithmetic) は、

最も単純に、赤緑の色覚異常の色値の算出を行うと、こういう色になる。

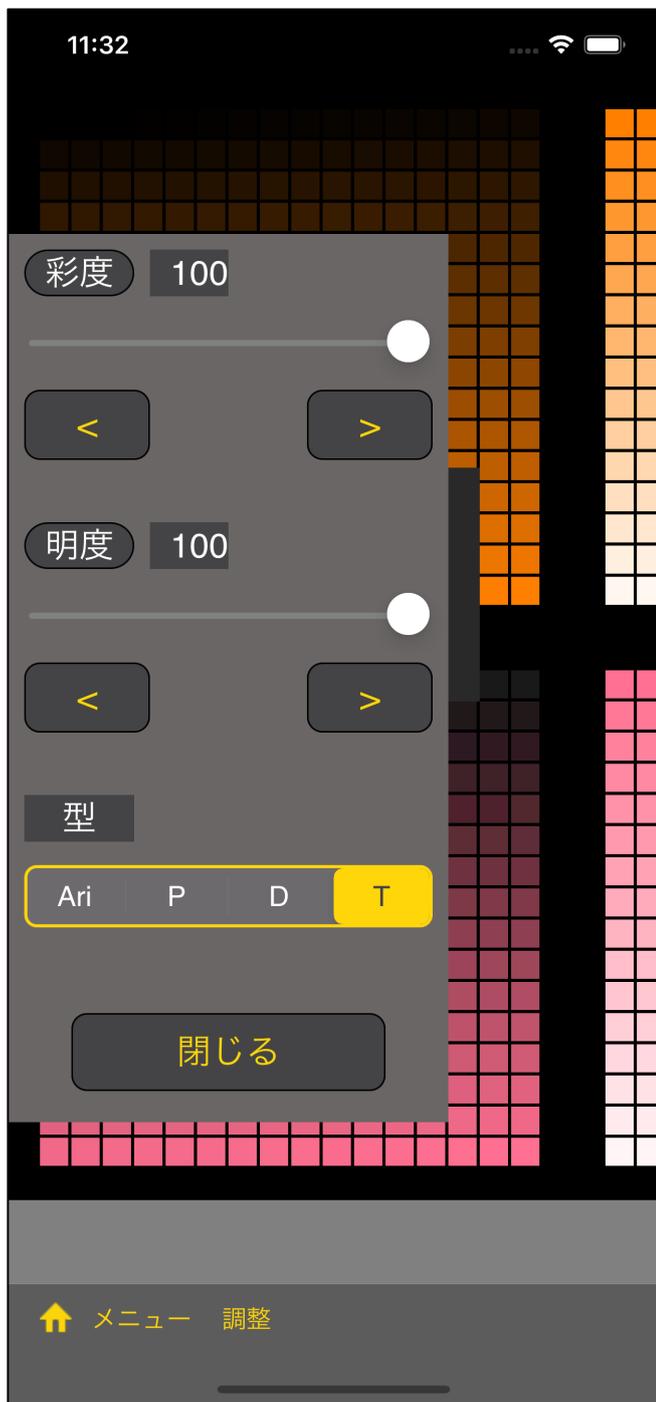
という色を出力しています。

こういう言い方がいいかわかりませんが、

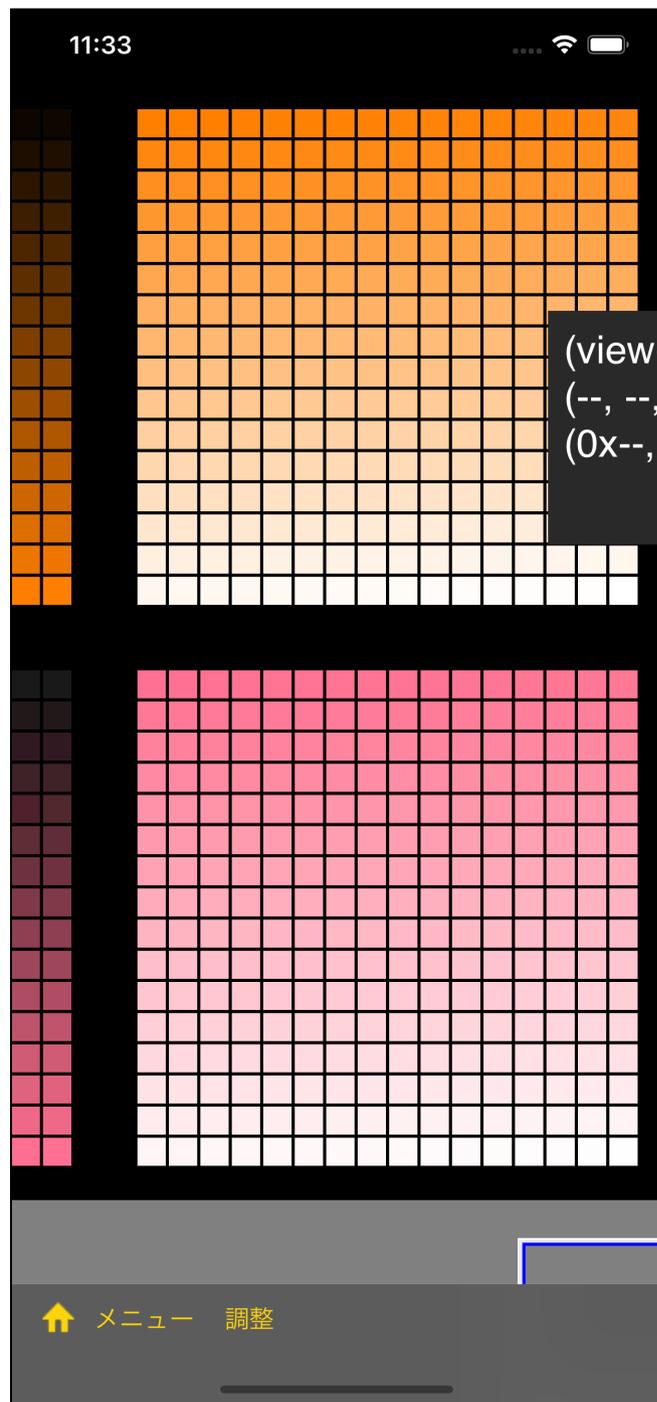
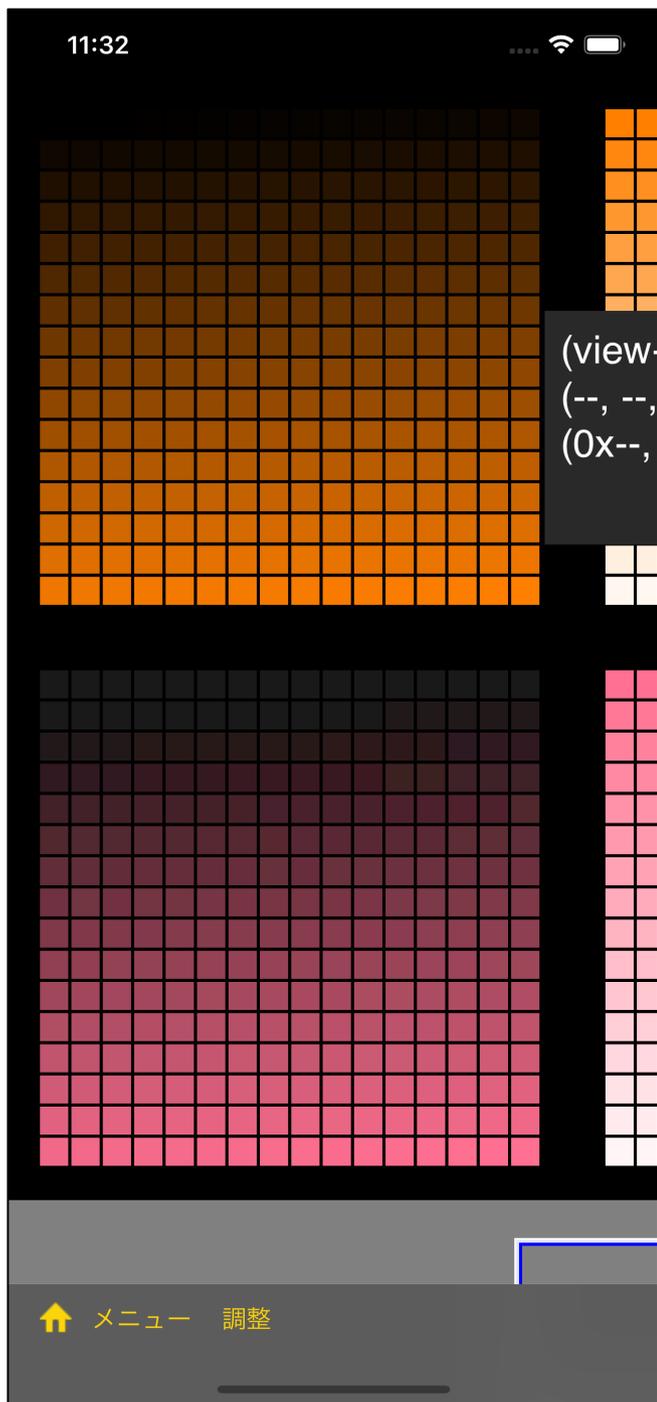
直線 ... Arith (算術、Arithmetic)

曲線 ... 1型2色覚、2型2色覚

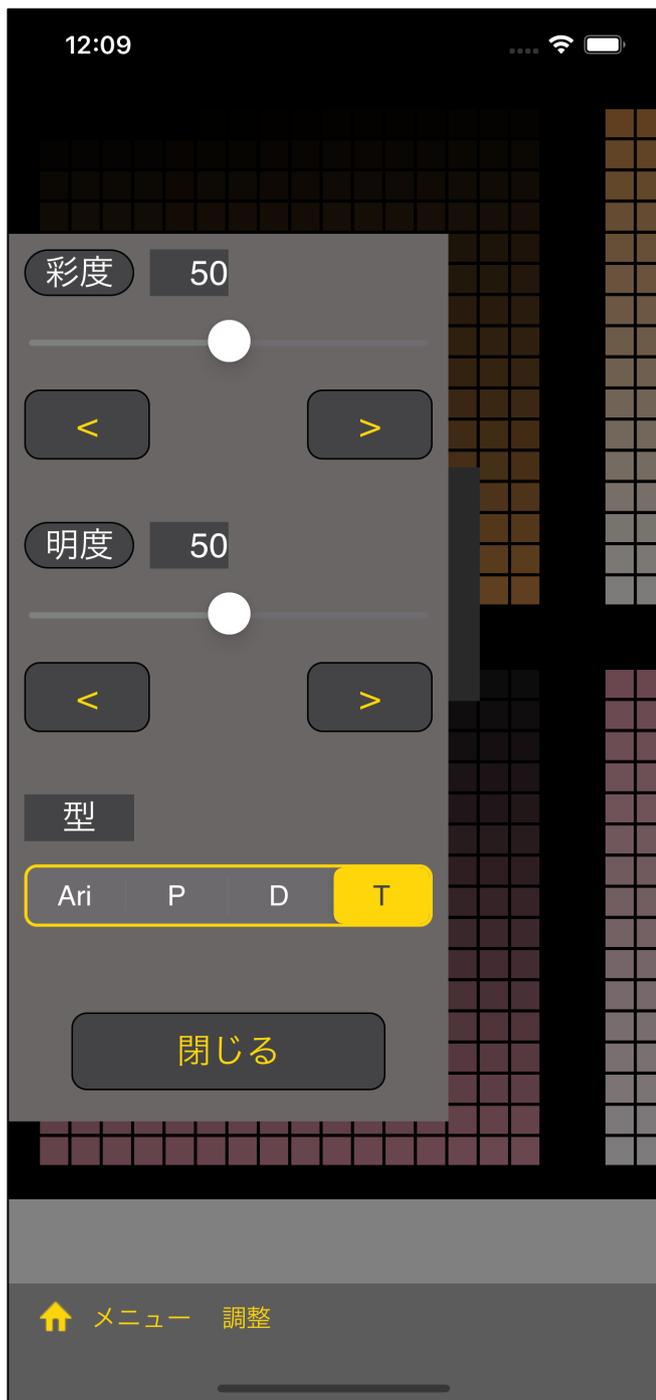
というようなことになると思います。



Tを選択すると、次のようになります。



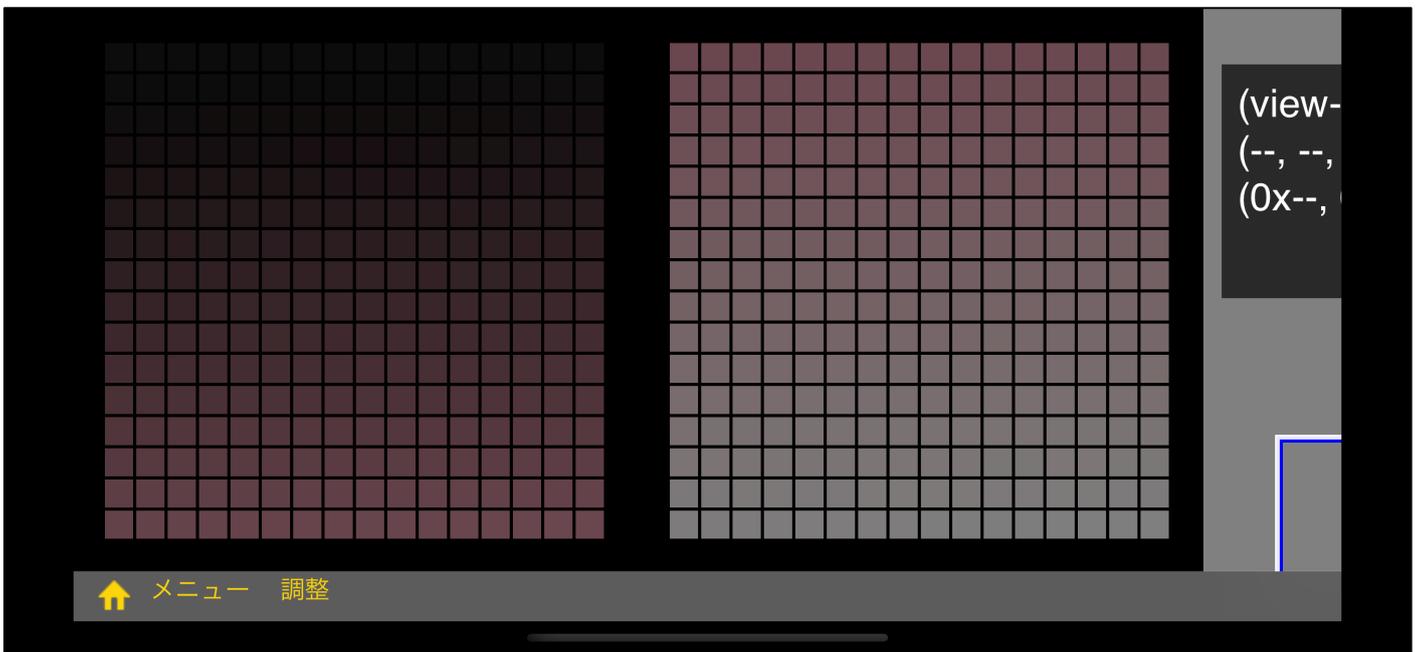
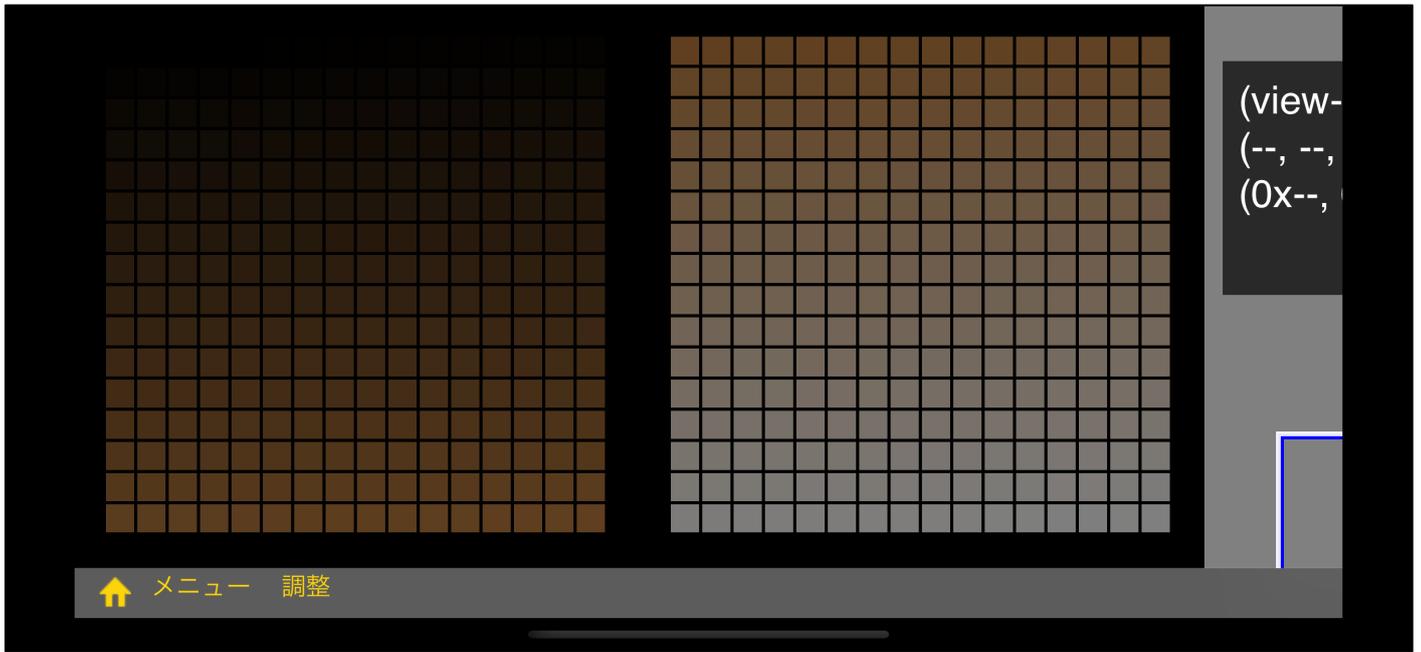
下側が、T (3型2色覚、Tritanopia) での色の見え方になります。

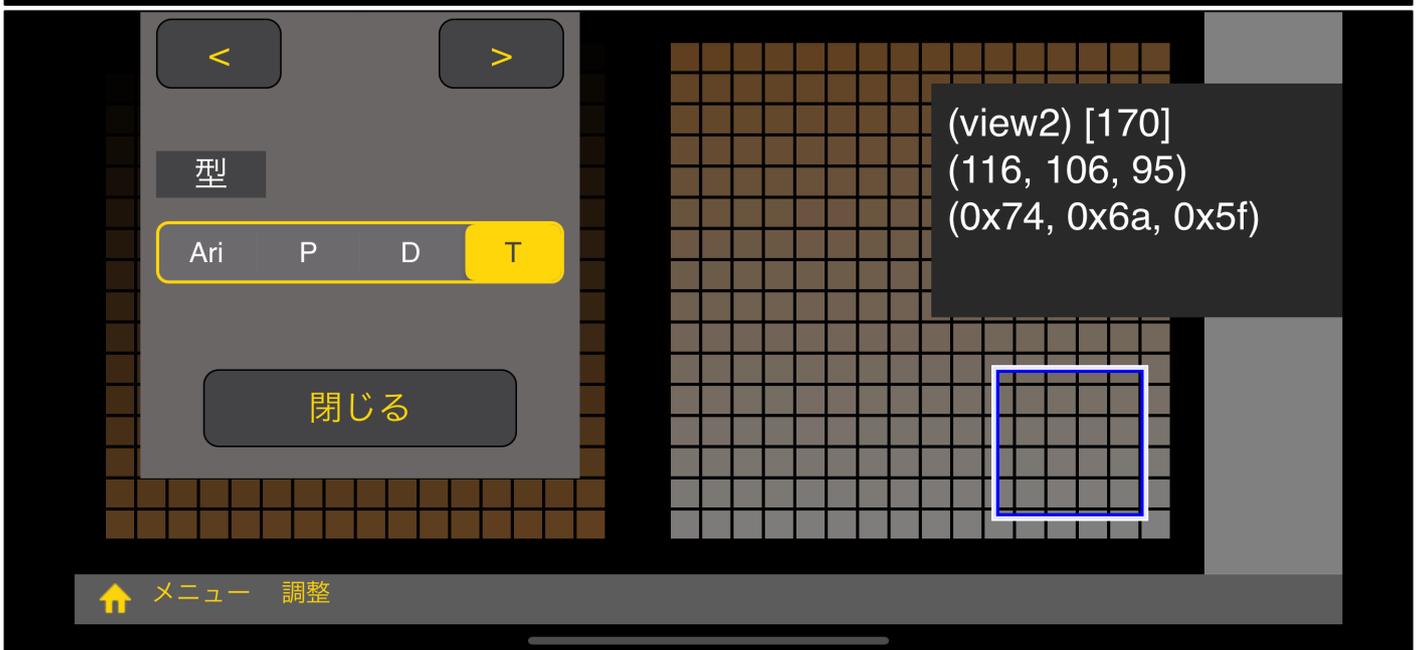
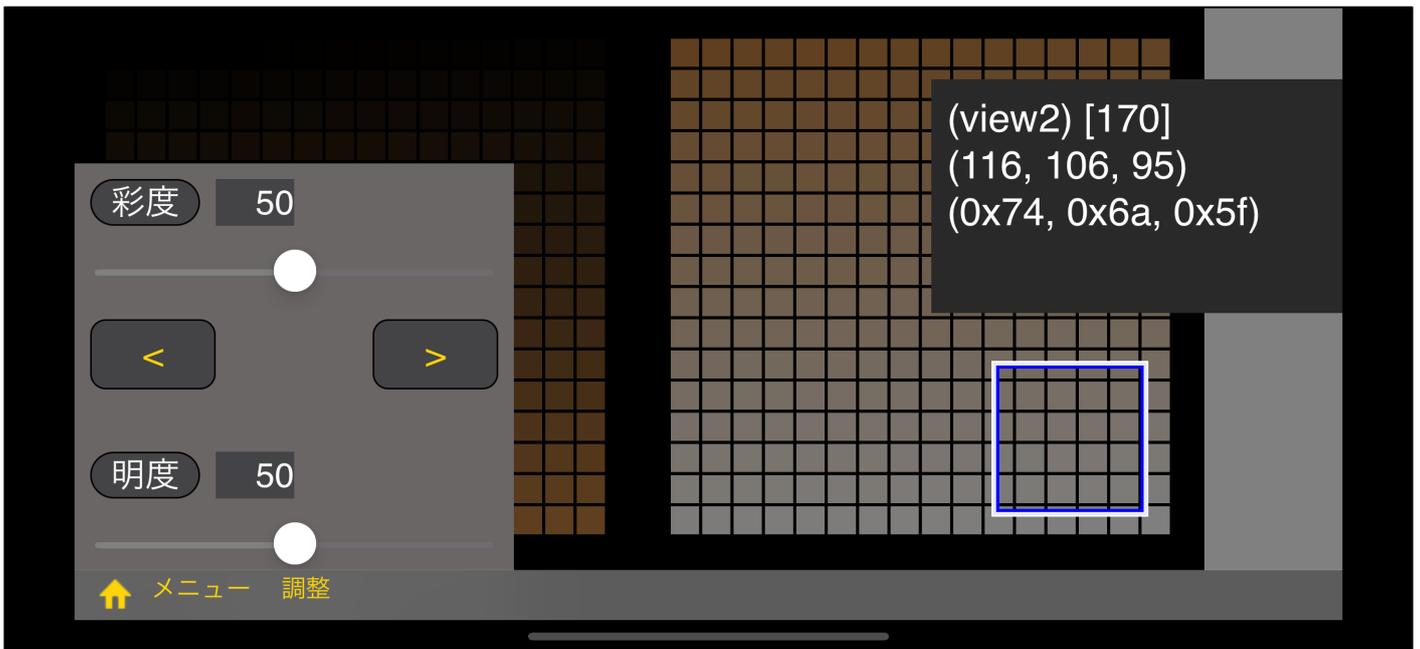


彩度 50

明度 50

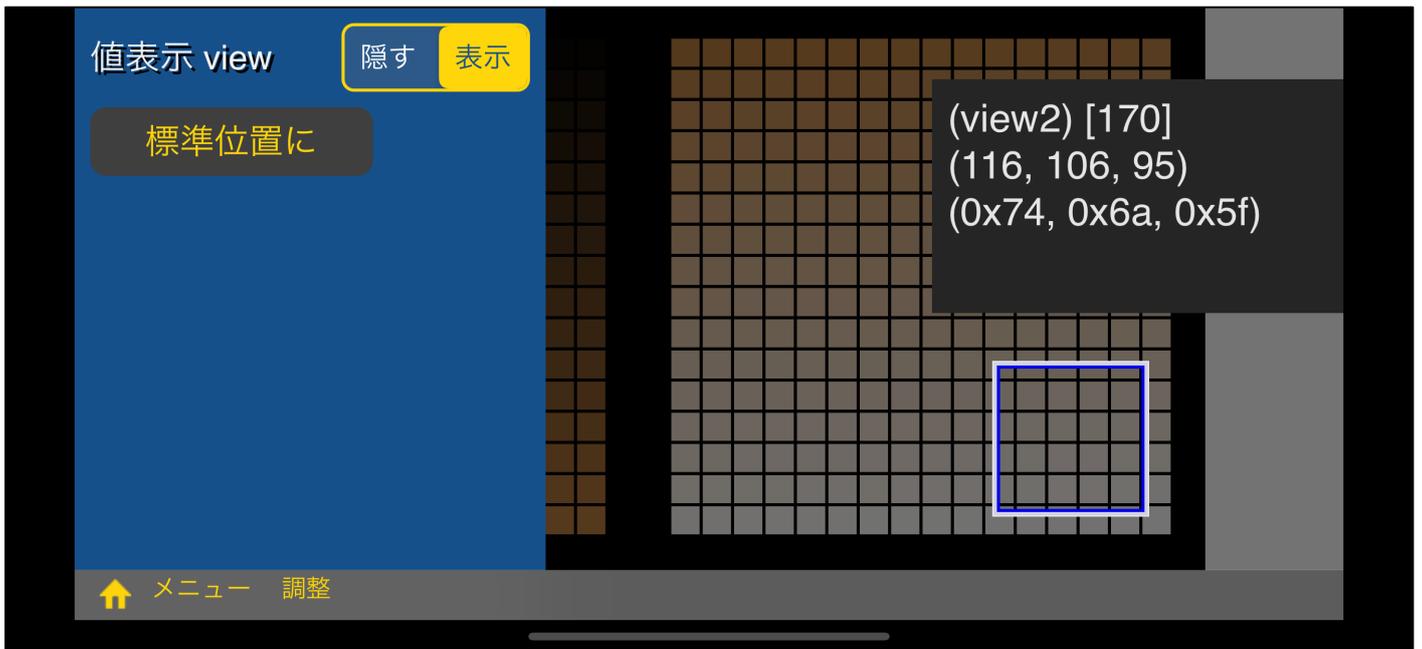
にすると、以下のようになります。



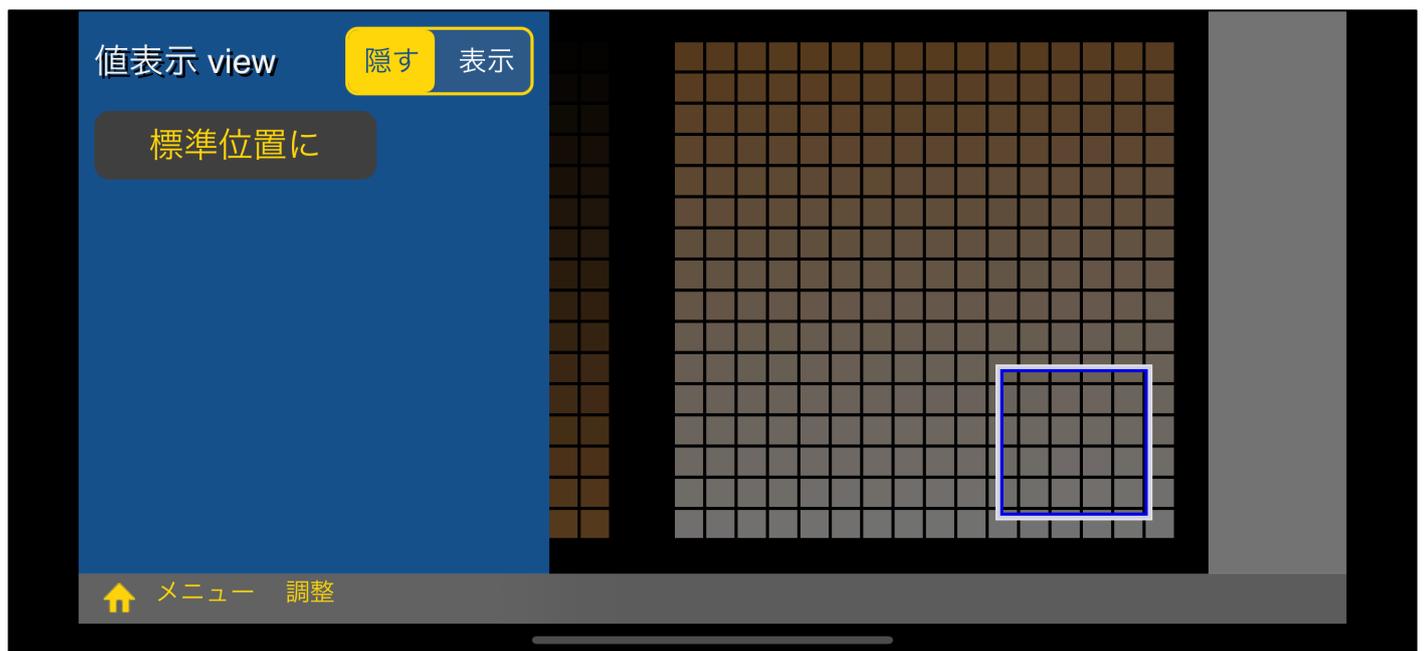


"調整" 用のスライダーのビューは、最下部の "閉じる" ボタンを押すと、消えます。

また、上の図のような場合には、土台の部分のどこかを長押しすることでも、閉じる(消える)ようになっています。

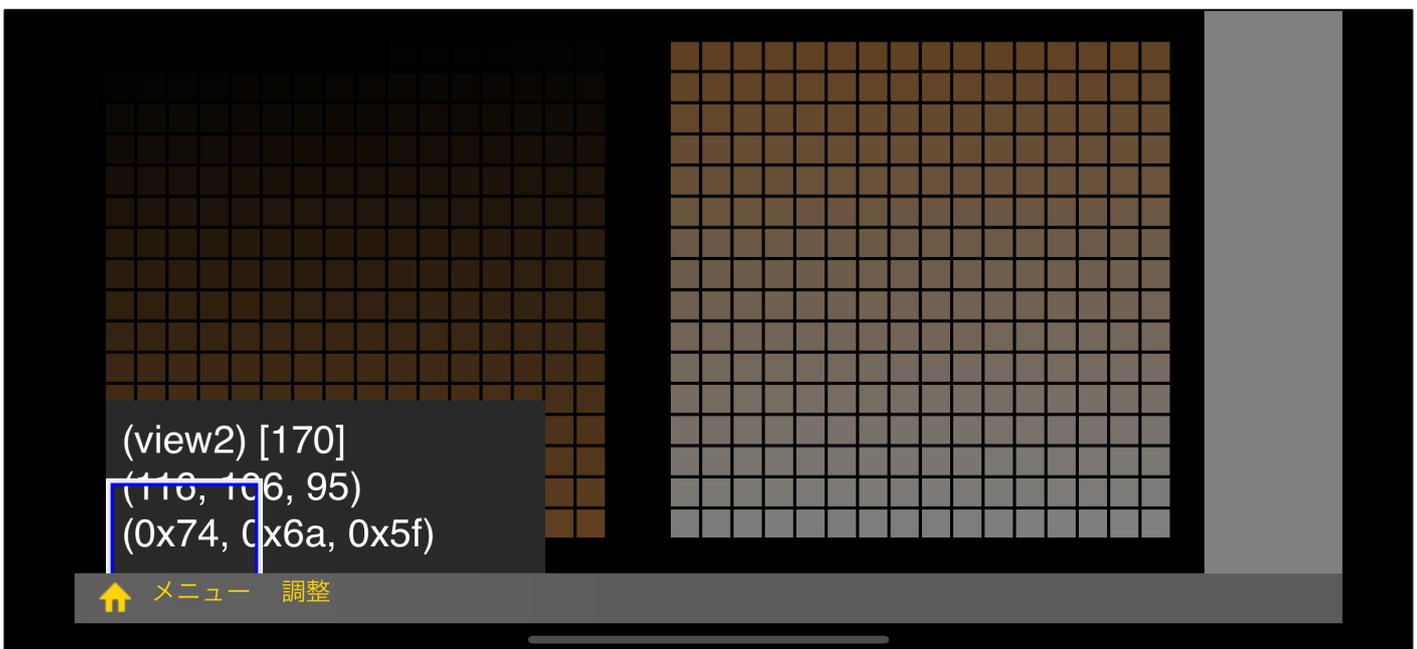
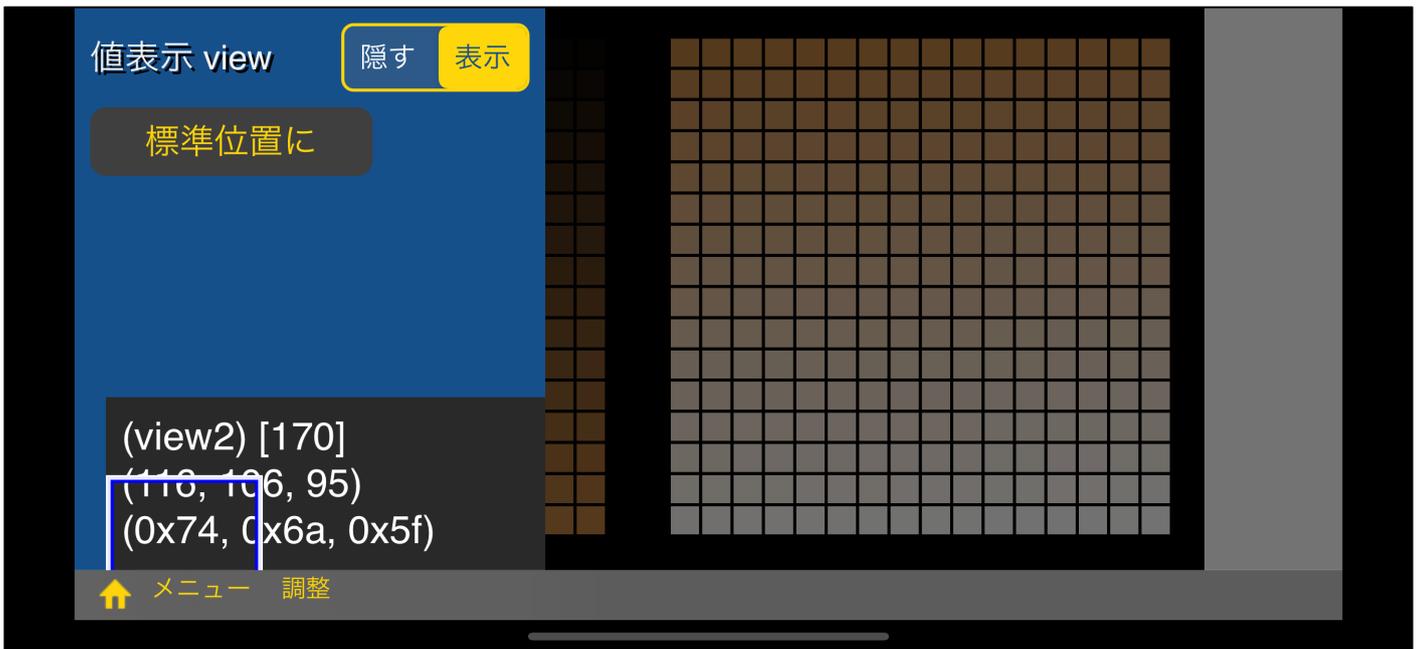


ツールバーの、左から2番目の、"メニュー" ボタンを押すと、このような、サイドメニューが出てきます。



"値表示 view" を" 隠す" にすると、色値のRGB値を表示するビューは、表示されないようになります。

"カーソルビュー" を消す設定は、設けていません。



"標準位置に" ボタンを押すと、カーソルビュー、値表示ビューが、実行開始時の位置に来ます。

カーソルビュー、値表示ビューを動かさない、動かすづらい位置に移動させてしまった場合は、このコマンドで戻すことができます。

~ 空白 ~



"マス目" コマンドは、"灰色" までは、

黒 その色 白

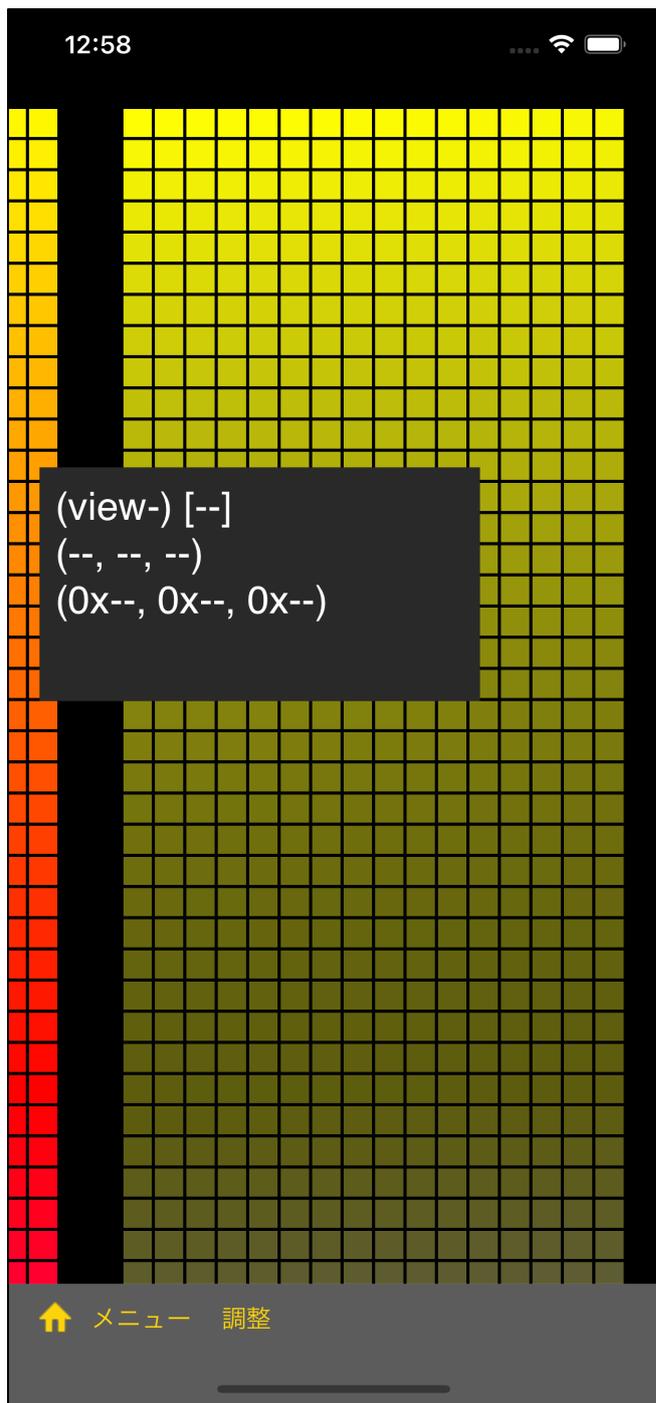
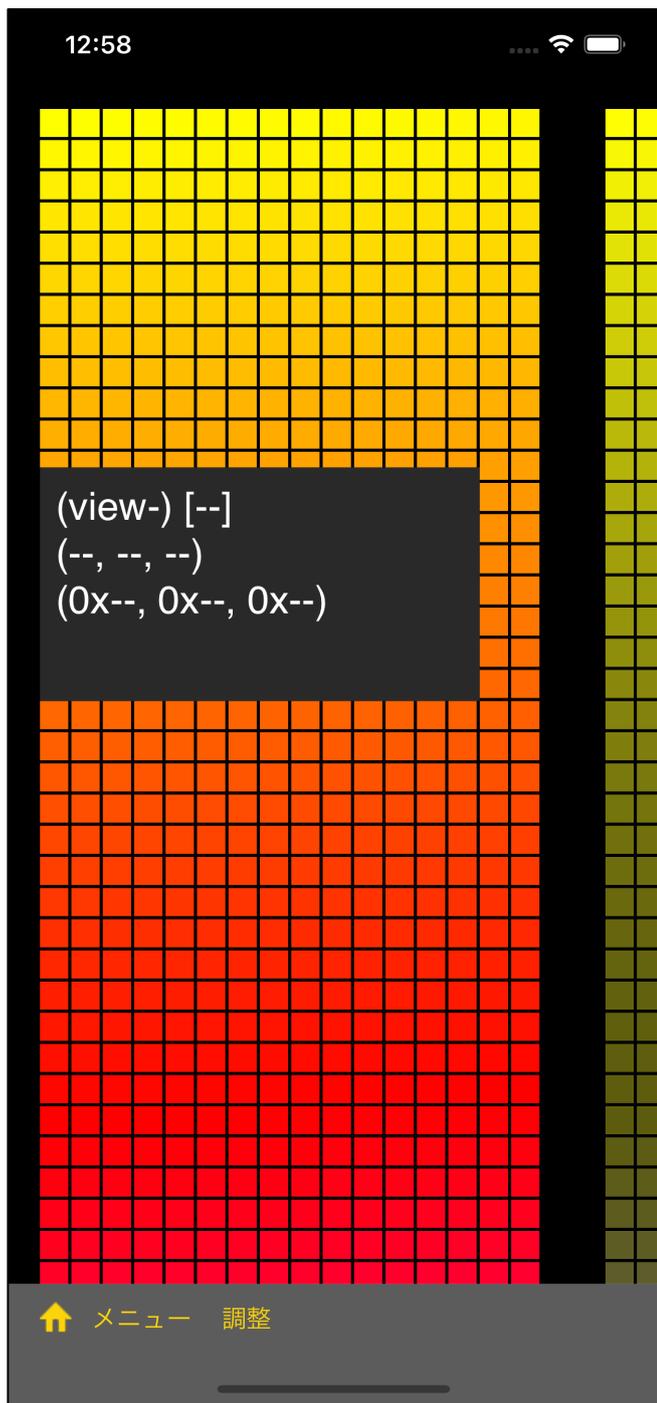
と変化します。

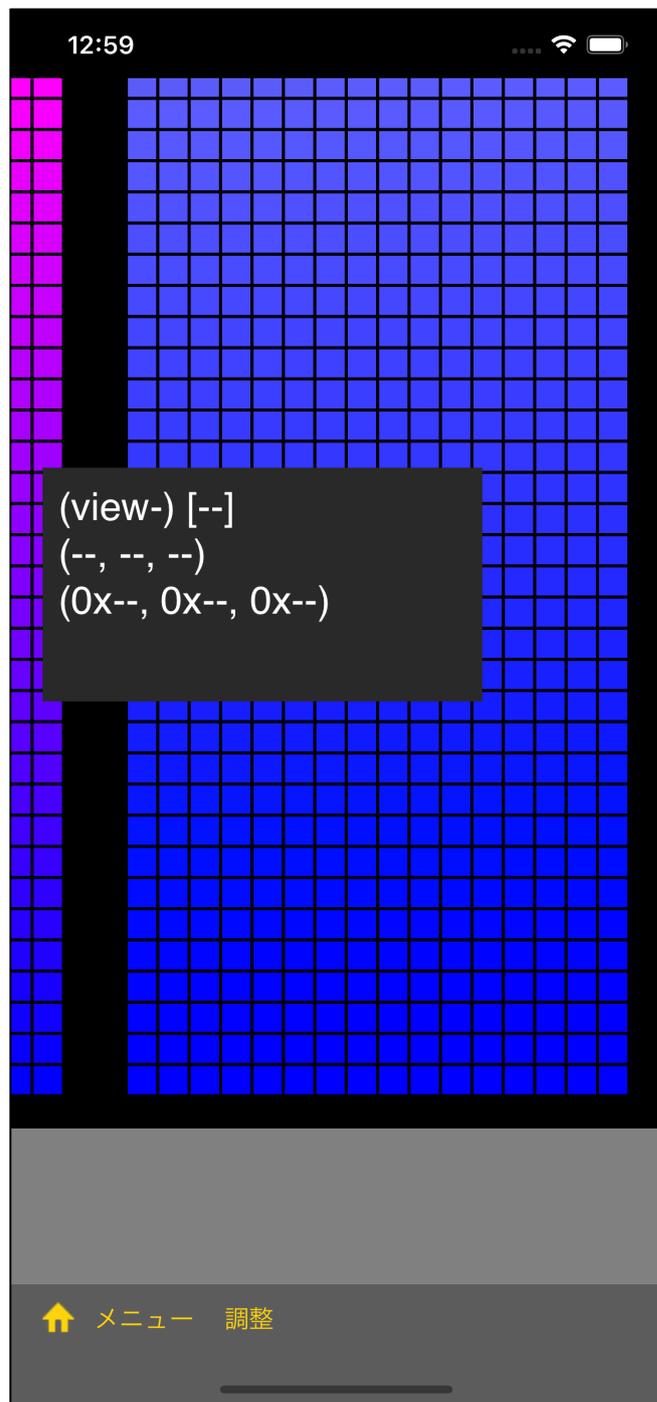
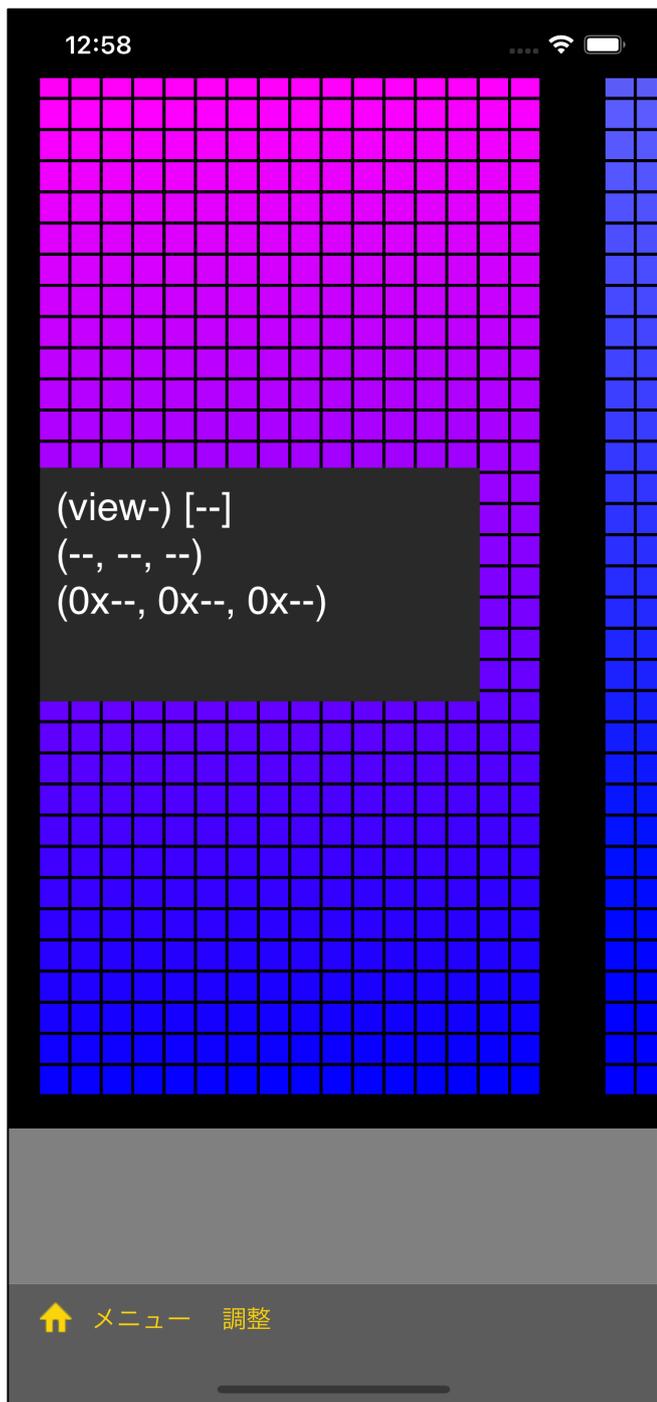
"黄-赤-紫-青"、"黄-緑-水-青"以降は、

始点の色 終点の色

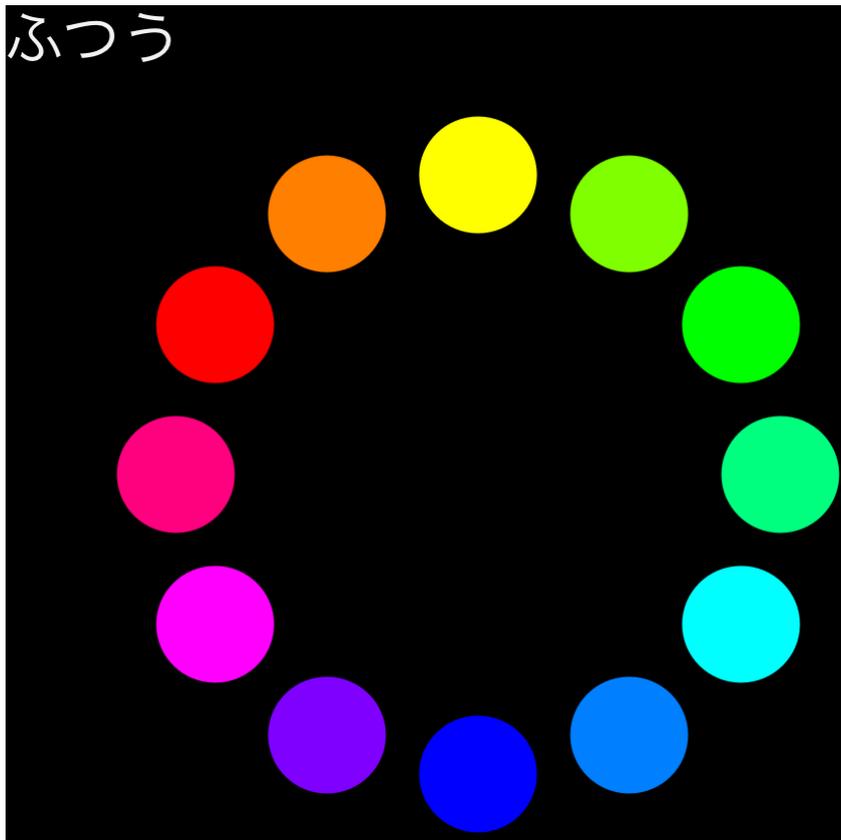
というふうに、色が変化していくものになります。

"黄-赤-紫-青" は、





このように、



この左回りで、

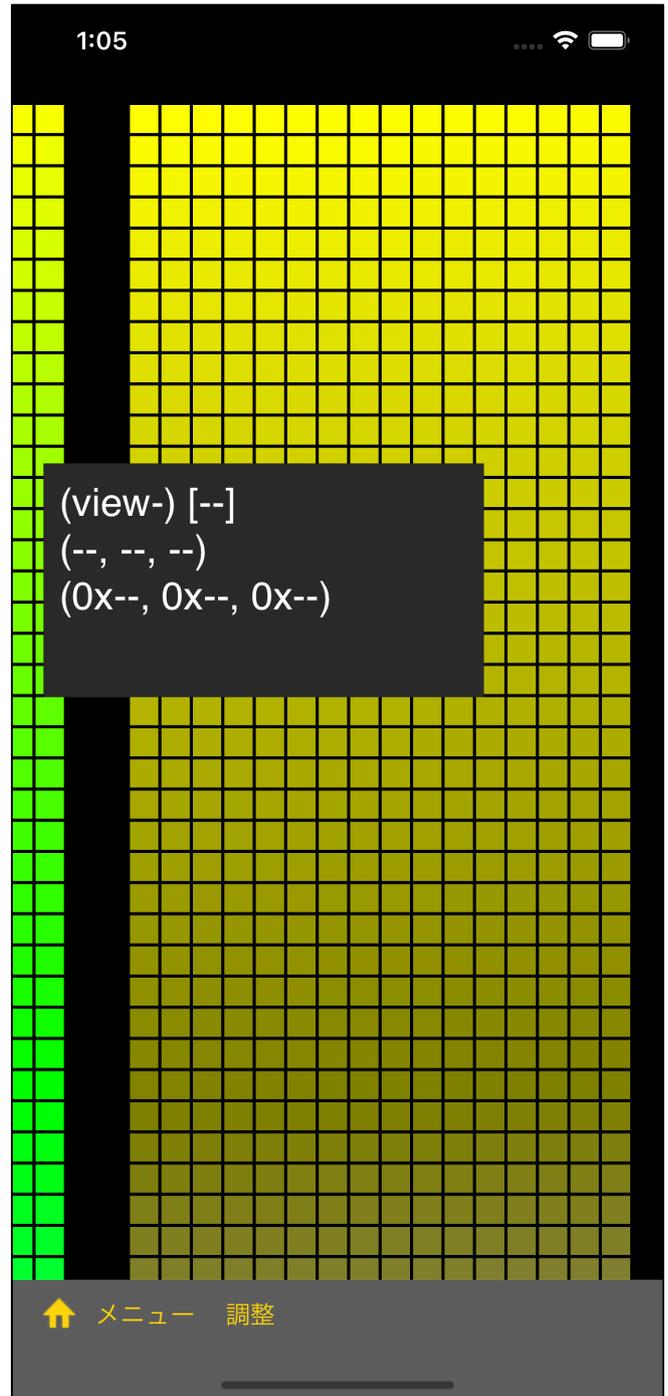
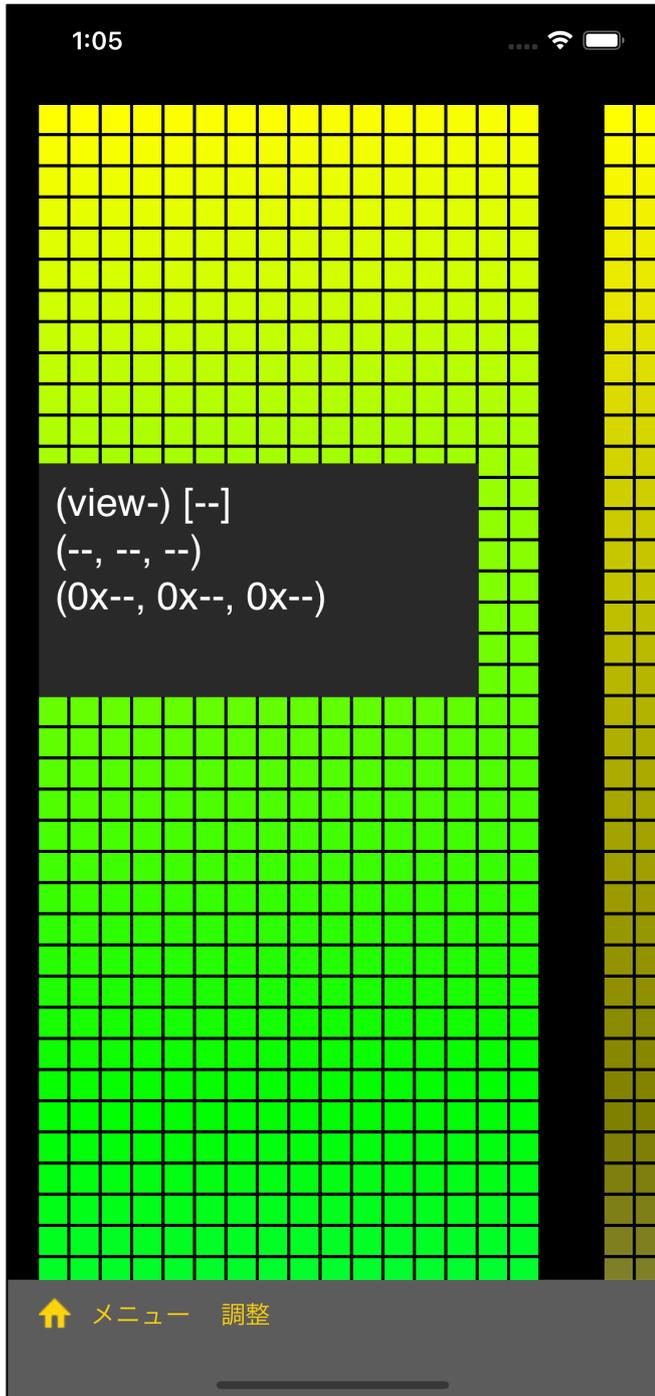
黄 赤 紫 青

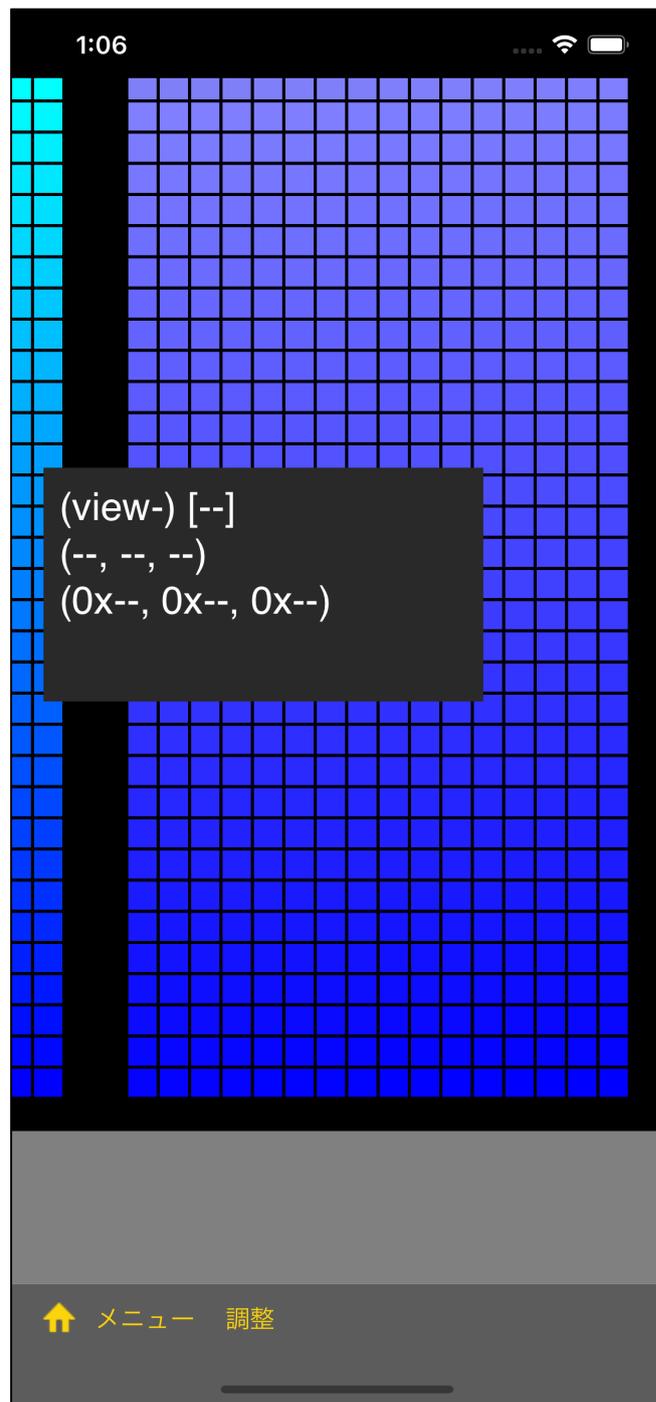
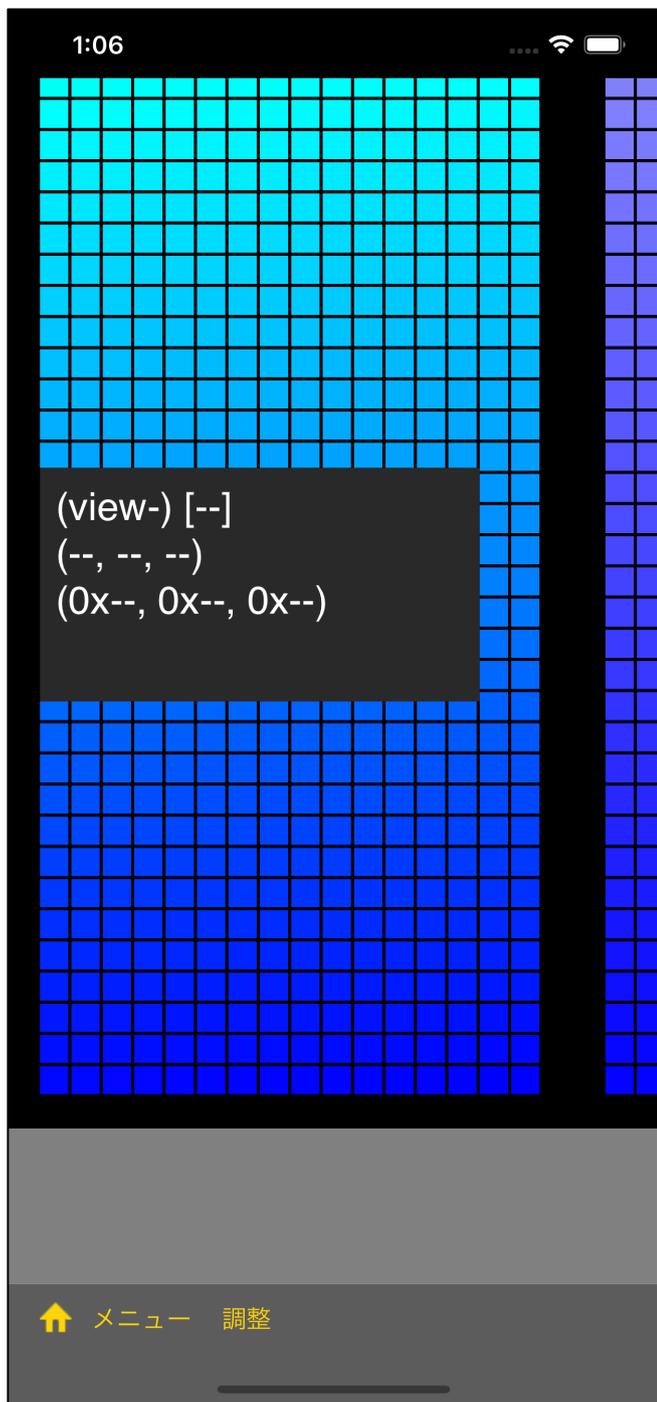
と、色を変化させています。

左のマス目 "ふつう" 右のマス目 "その色覚での色"

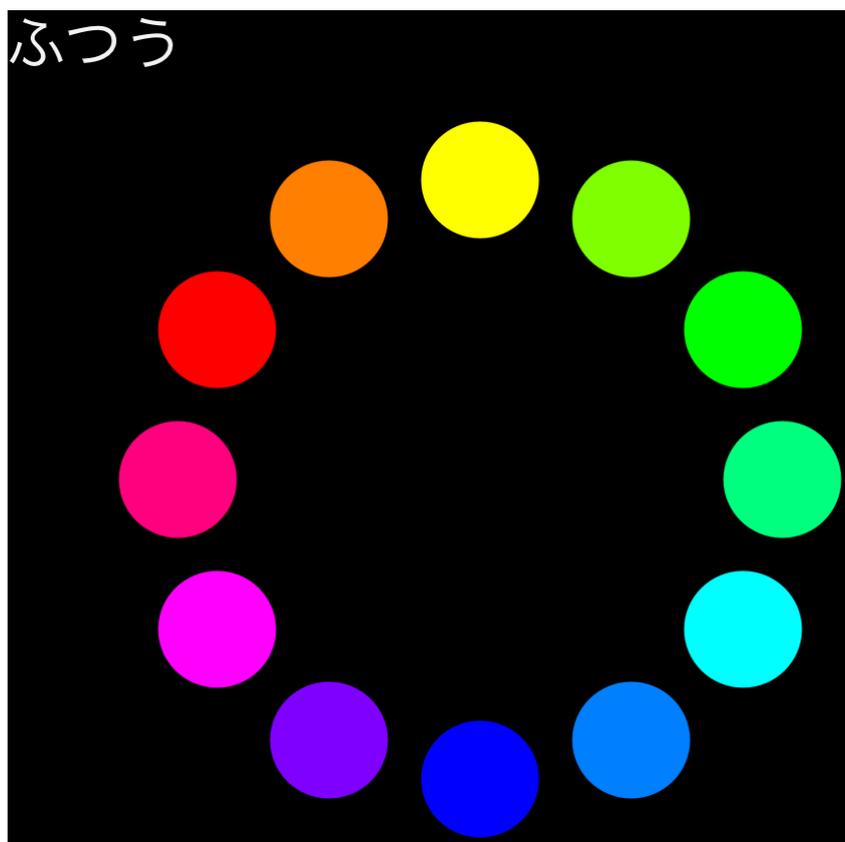
となります。

"黄-緑-水-青" は、以下のようになります。





"黄-青 両方" は、4つのマス目を表示して、

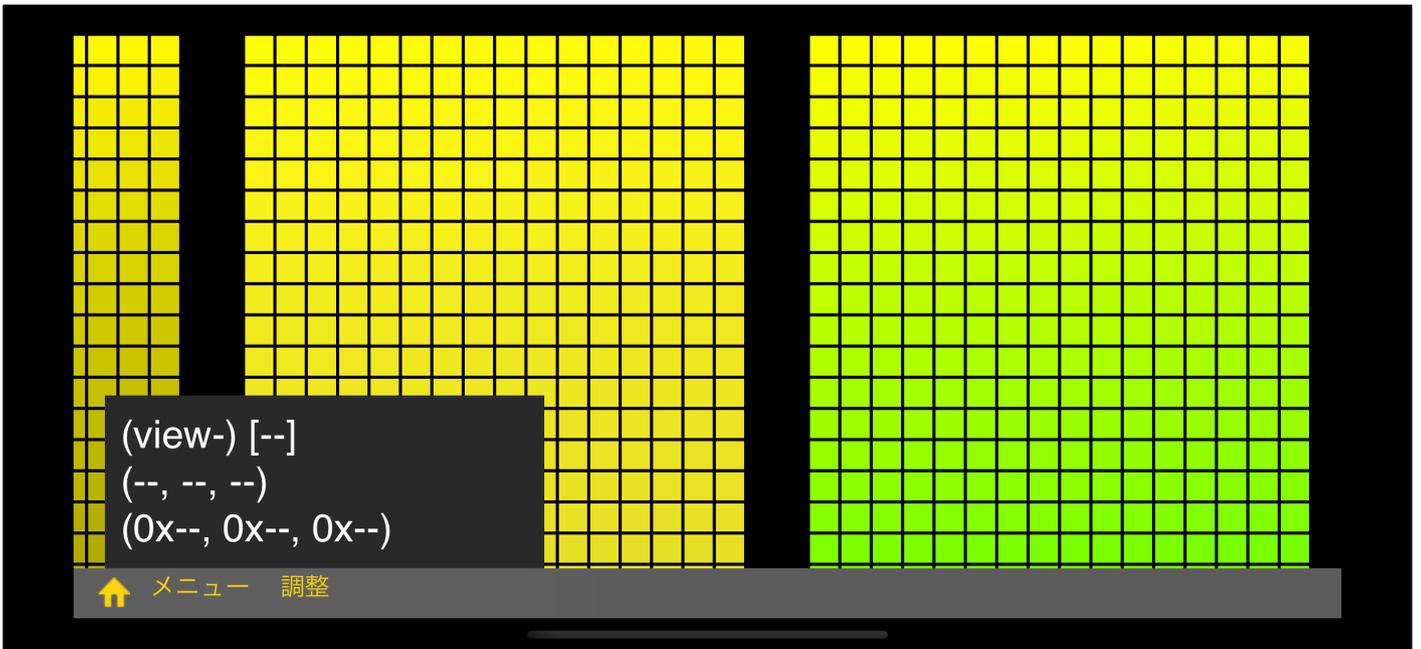
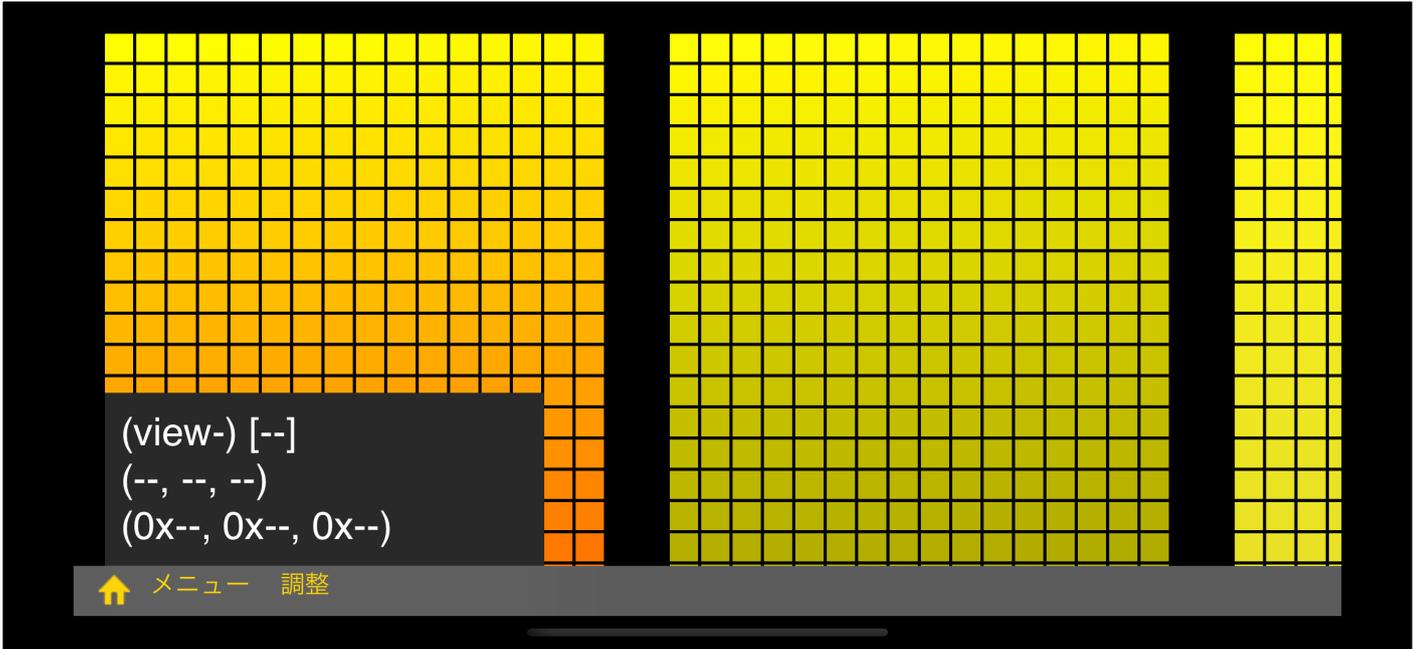


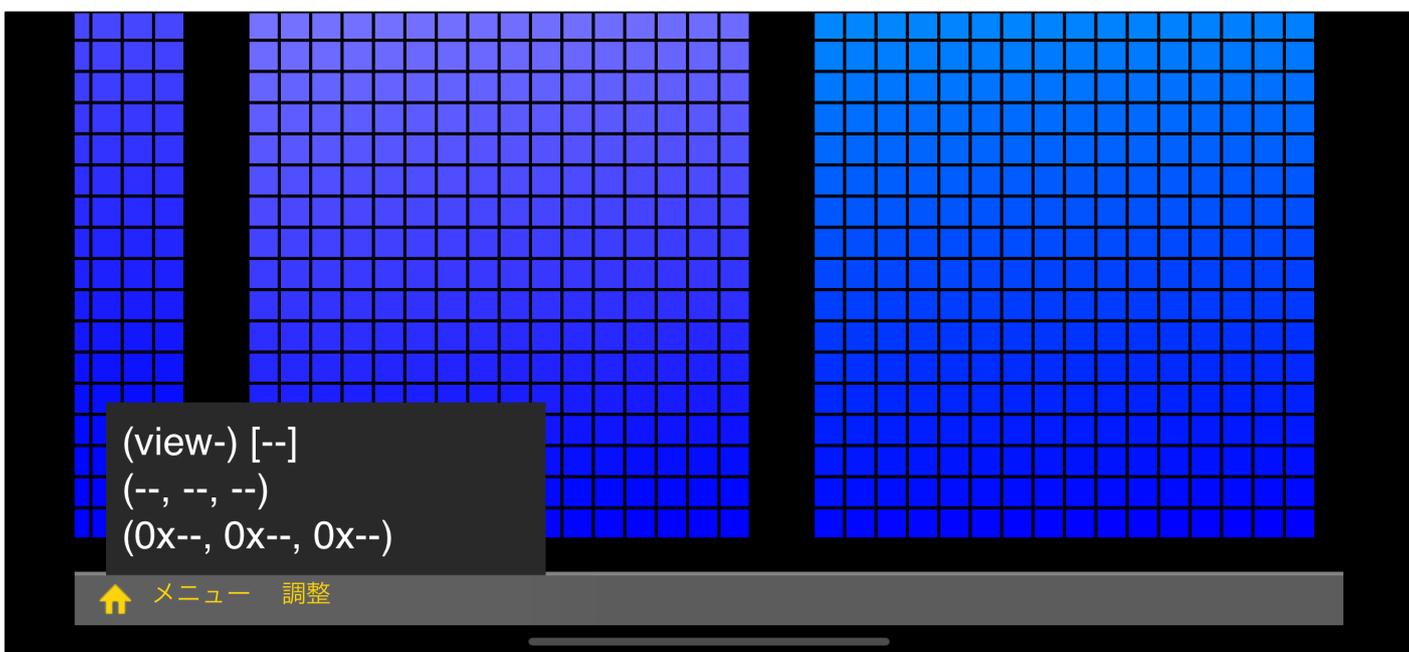
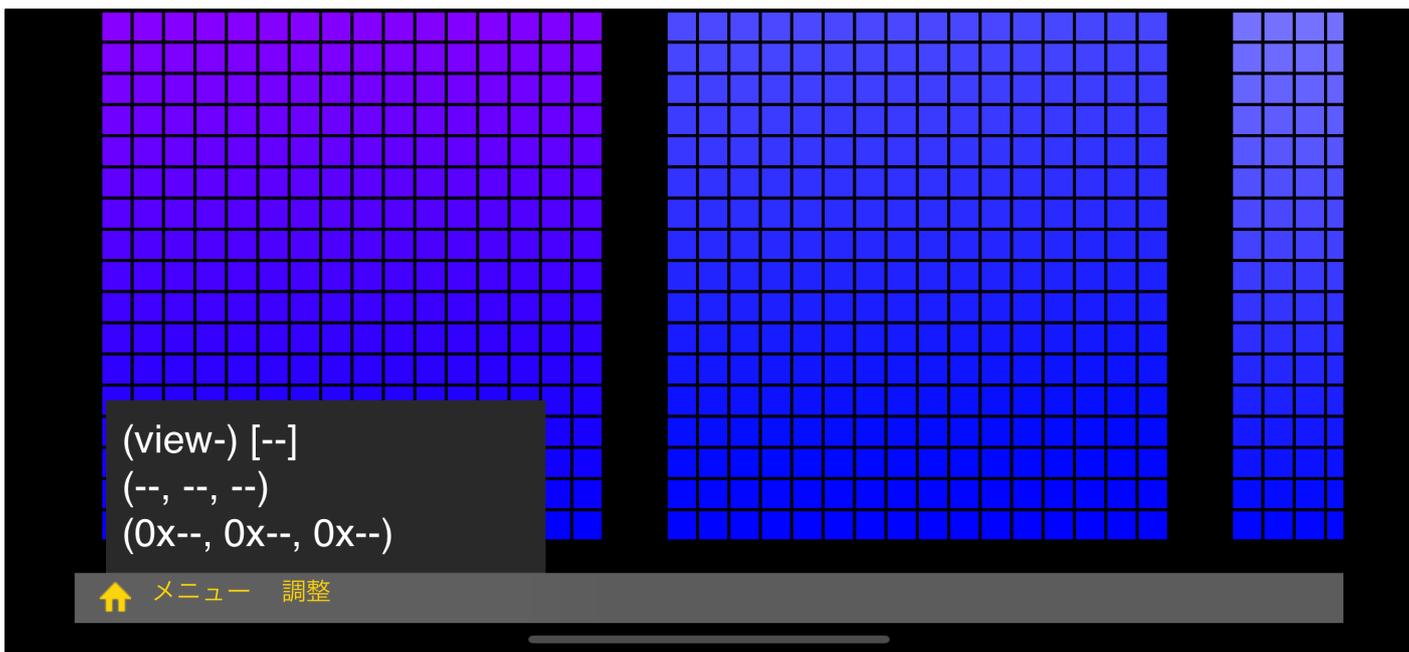
この色の、両経路での、色変化を表示します。

マス目の配置は、左から、

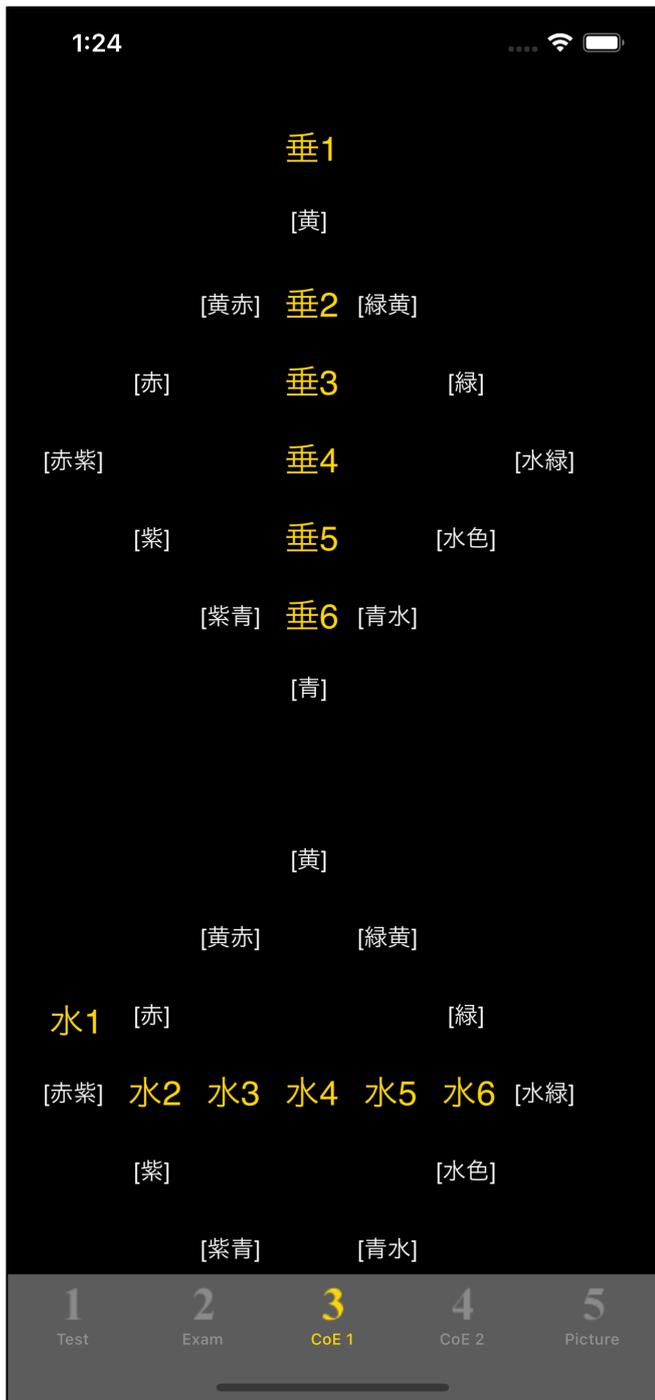
| | | | |
|-------|-----------|-----------|-------|
| "ふつう" | "その色覚での色" | "その色覚での色" | "ふつう" |
| | 黄 赤 紫 青 | 黄 緑 水 青 | |

こういう意味になります。

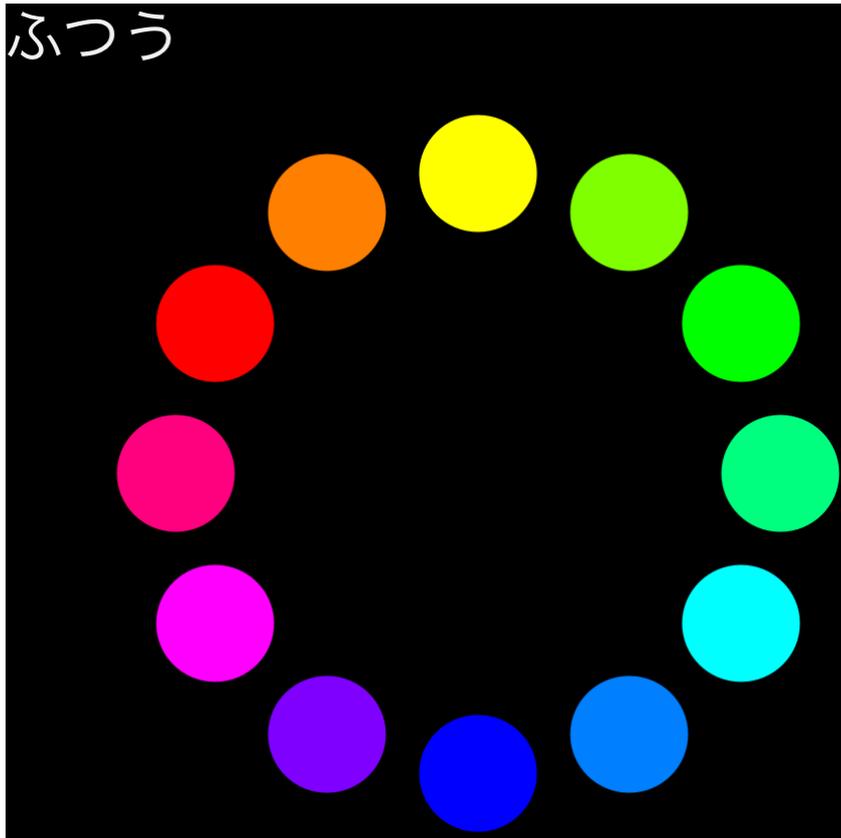




~ 空白 ~



この、「垂 1」以降は、以下の色相環で、向き合っている色を、始点、終点とします。



垂 1 ~ 垂 6 は、垂直方向を指標として、向き合っている色という意味です。

垂 2 は、垂直方向で、上から、2番目で、水平方向として向き合っている、

[黄赤] [緑黄]

という意味になります。

水 1 ~ 水 6 は、水平方向を指標として、向き合っている色という意味です。

水 2 は、水平方向で、左から、2番目で、垂直方向として向き合っている、

[赤]

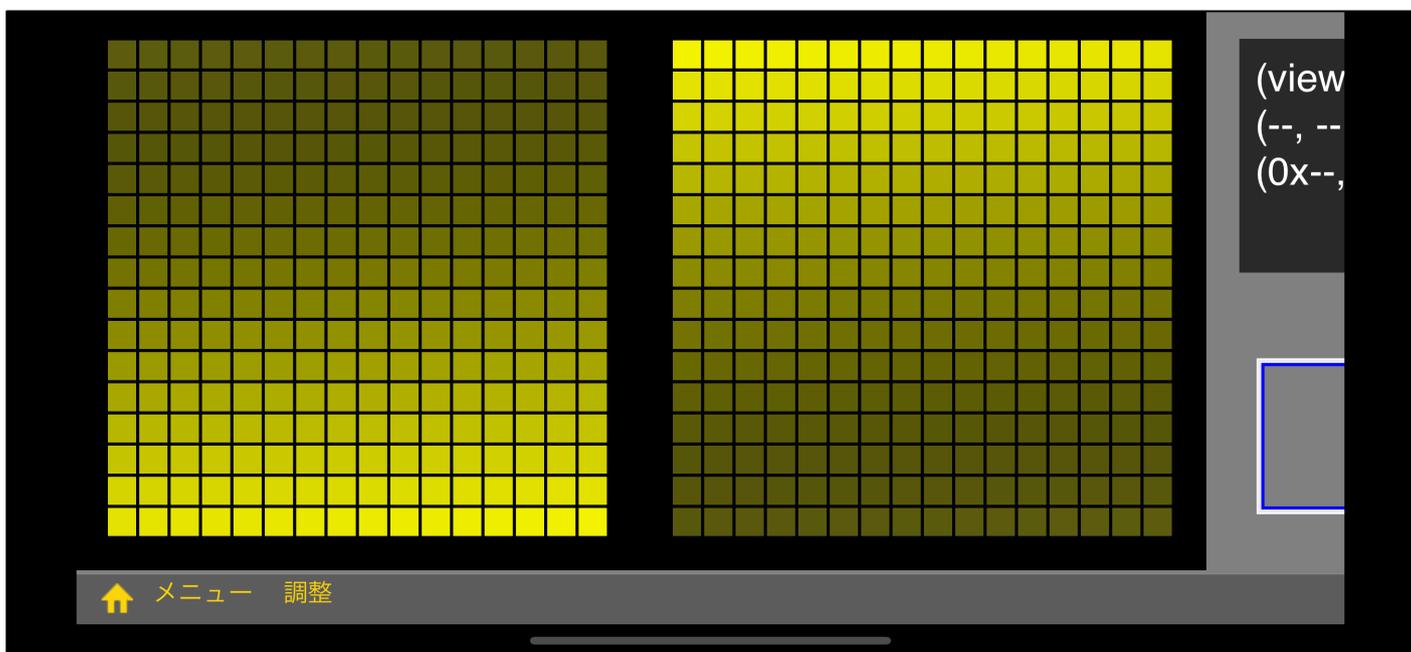
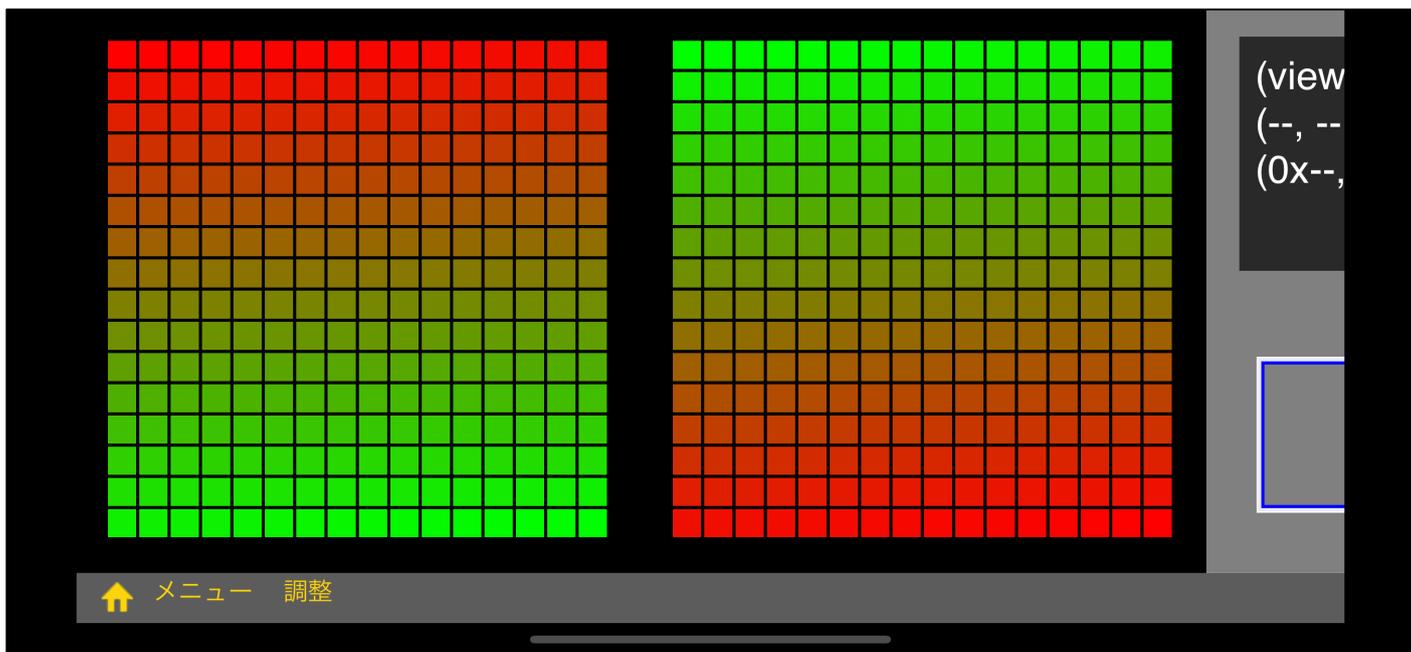
[紫]

という意味になります。

垂 3 [赤] [緑] (1型2色覚、Protanopia)

上 [ふつう]

下 [指定の色覚] ここでは(1型2色覚、Protanopia)



水 3 (1型2色覚、Protanopia)

[黄赤]

[紫青]

上 [ふつう]

下 [指定の色覚] ここでは(1型2色覚、Protanopia)

